



2020.03.01~2021.02.29

2021年度

# NPO法人アースキャラバン 年次報告書

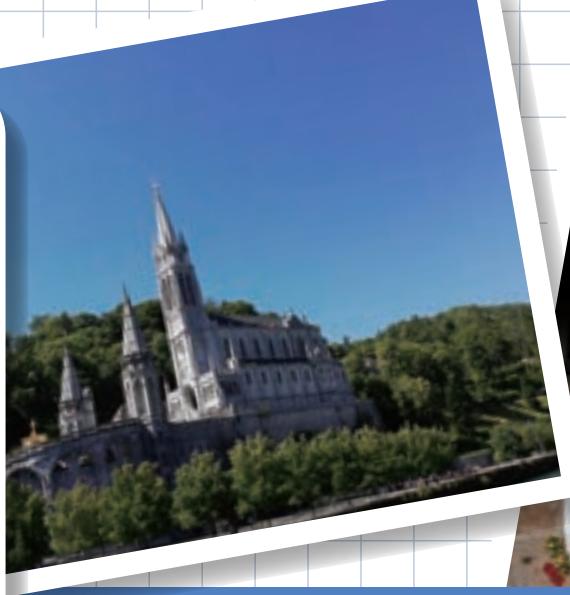


# EUROPE

7月

## Lourdes France

フランス・ルルドから  
三大聖地の1つサンティアゴへの巡礼がスタート  
希望の火にフランス・  
ルルドのラビ市長に祈  
りを込めていただきました。その後、168年間  
灯される、ルルド「サン  
クチュアリの灯」が希望  
の火に合祀されました。ミサの後で、希望の火を掲げ  
たダロッド大司教を先頭に、500人の巡礼者による  
「光の巡礼」が行われました。



## Santiago de compostela Spain

フランスからスペインへと  
渡った希望の火は、ガリシア州にある「ヨーロッパ三  
大聖地」の一つサンティア  
ゴ・デ・コンポステーラ大聖  
堂に到着。ドン・ホセ・サン  
チエス司教から「平和が勝  
利を収められるように希望  
の火を燃やし続けて下さい。分裂、憎しみ、戦争これら  
の言葉がすべての人の心から追放されますように。  
“平和”が、私たちの生き方になりますように。アーメ  
ン。」と祈っていました。



9月

## Alkmaar Netherlands



9月はオランダへ。アンニヤ・スハウテンアルクマール市長より、「この世界に、全ての人が平和と寛容のうちに生き、働き、学ぶことが出来ますように。安全で、自分自身でいられる場所がありますように。この希望の火を、苦難の時を過ごしている人の上に輝かせましょう！」とメッセージをいただきました。

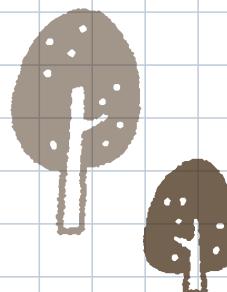


10月

## Barcelona Spain



10月。世界平和会議  
がバルセロナにて開催。  
希望の火とニンジャホープを紹介させ  
ていただきました。

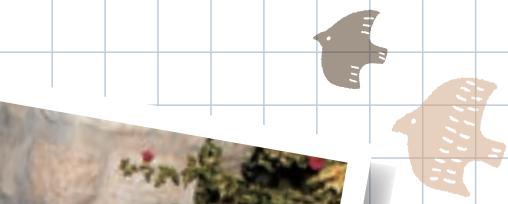


8月

## Jerusalem Israel



8月には希望の火はイスラエルへ。ヤドヴァシェム世界ホロコースト追悼センターに灯る「ホロコーストの火」と合祀されました。その後はエルサレムの聖墓教会で灯されている「イエス変容の光」と呼ばれる火と合祀。この火は、多くの奇跡が起こったキリストのお墓の所で、8世紀から燃え続けてきた火です。



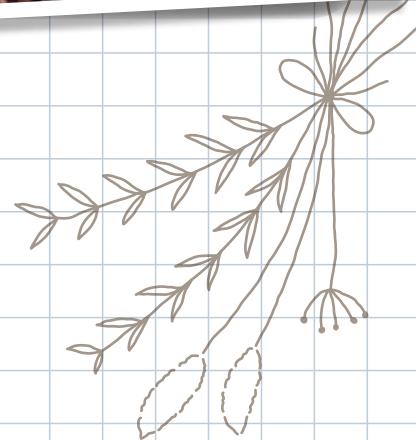
# 世界を旅する 希望の火

NORTH AMERICA



11月 Montreal  
Canada

希望の火が初めて北米大陸に上陸！  
ケベック州モントリオールの有名な  
聖ヨセフ礼拝  
堂で歓迎され  
ました。



11月 ☆ \* \*

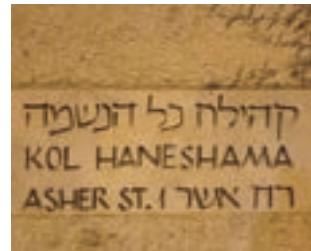
MIDDLE EAST

ユダヤ教の祭（ハヌカ）で希望の火が灯されました。ハヌカとは、9本のろうそくを灯して行われる、ユダヤ教のお祭りです。



ユダヤ暦キスレブ月の25日から8日間祝われます。初日は種火と1本目の計2本に点火。その後、毎日、1本ずつ点火していき、8日目の最終

日には、全部のろうそくを灯します。  
エルサレムのシナゴーグ「コル・ハネシャマ」（ヘブライ語で「魂を込めて」という意味です。）で、「希望の火」がハヌカの灯と合祀され、オデッド・ラビによって祈りがこめられました。

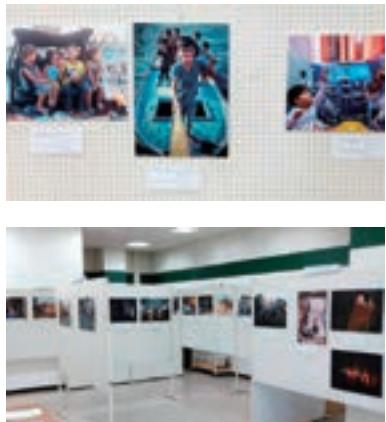


2021年度

# 日本からの報告

今年度、日本でも鳥取県、岡山県、京都市、など  
各地でたくさんの方に希望の火に祈りを込めていただきました。

**6月** パレスチナ写真展  
開催 (広島県三次市)



**5月** 希望の火パゴダ建設  
(長野県松本市)



**8月** 檜王法林寺  
平和の集いに参加  
(京都府)



**10月** パレスチナ写真展と  
中東報告＆料理の会 開催  
(愛知県田原市)



**9月** 国際平和デーに  
希望の火が灯される  
(東京都)



# バングラデシュより

## 少数民族ラカイン族 教育支援

コロナで閉鎖されていた学校が、  
久しぶりに再開され、  
子どもたちが元気に登校しました。



バングラデシュでは、新型コロナ感染防止のため、すべての教育機関に休校措置がとられていました。そのため、アースキャラバンで支援している3つの学校もお休みとなっていました。

2021年に入って、ようやく支援している3つの学校の内、  
チョフロンギ村、バルバキア村  
の学校が再開しました。

今回、現地スタッフのラジョさんより、チョフロンギ村の学校の様子の写真が届きました。

現在、この学校の卒業生が先生となってがんばってくれてい



ます。休校となることで、学校から足が遠のいてしまわないように、今後も子どもたちが安心して学べる場や機会を継続して行けるよう、村全体をサポートしていきます。

## パレスチナへの支援

### ガザ地区、 西岸地区へ

毎年パレスチナへ訪問を続けていましたが、残念ながら、2021年も訪れることができませんでした。

元々、現状が報道されにくいパレスチナであったにも関わらず、コロナ禍によって増え状況が見えにくくなっています。アースキャラバンでは、2015年から共に活動してきた、イスラエル・パレスチナ間の平和活動とパレスチナの人権のための闘いにおいて長年の実績を持つ、西岸地区 ヨルダン渓谷の中心的な活動家で、イスラエル人のガイ・ハーシュフェルド氏を通して、活動費を送りました。彼は、何度も逮捕されたり、殺害されそう



になりながらも、リスクを覚悟でイスラエル人入植者の暴力や、入植者を支援する兵士や警察官から、パレスチナ人の羊飼いや農民を守ることに人生を捧げています。

また、イスラエル軍による包囲、高い失業率、安全な水などの基本資源の不足、PTSDの人の増加によって日々影響を受けるガザ地区。引き続きアースキャラバンで2018年に設置した「脱塩浄水器」のメンテナンス等への送金を行いました。



# 会計報告

2021年3月1日～2022年2月28日

## 収支報告

### ◆事業収入 収入内訳

アースキャラバン会費収入	1,150,700円
活動への支援金	812,357円
利息	104円
収入総額	1,963,161円

### ◆事業支出 収入内訳

国内外支援金	1,060,005円
アースキャラバン活動費	1,116,538円
支出総額	2,176,543円

## 支援報告

パレスチナ	人道支援	183,000円
バングラデシュ	村&子ども教育支援	567,005円
パレスチナ・ガザ地区	インフラ支援	350,000円
支援総額		1,100,005円

## 編集後記

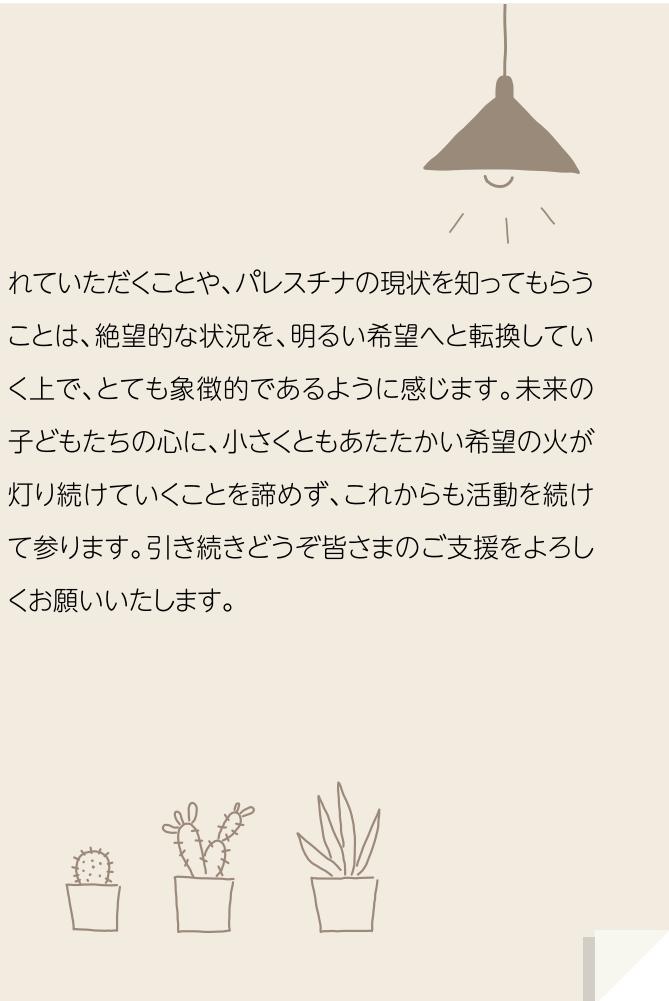
2021年、世界はまだコロナ騒動の真っ只中で、日本から海外へ支援活動に出向くことは果たせませんでした。そんな中でも、各団体の頼もしいメンバーたちによって、希望の火は世界を駆け巡り、多くの方たちと平和への祈りや希望を分かち合い、大切な火との合祀を実現することができました。

また、バングラデシュのラカイン族の村や、パレスチナの現地のメンバーとは連絡を取り合い、状況を把握しエールを送りました。

国内でも、希望の火と共にイベントに参加させていたいたり、各地の有志の方がパレスチナ写真展を開催したいと申し出てくださったことで、これらを実現することができました。こんな時だからこそ、希望の火に触

## 団体概要

名 称	特定非営利活動法人 アースキャラバン
設 立	平成18年4月26日
事 務 所	京都市東山区古物前通大和大路東入元町367番地2
代 表 者	理事長 野本祐子(設立時理事長 遠藤暁及)
目 的 等	人種、国籍、宗教、信条を問わず全ての人々に対して、氣と心のワークショップの開講、整体の施術、地域通貨の運営、芸術活動、海外援助活動に関する事業を行い、世界中の明るく豊かな未来に寄与することを目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>① 気と心のワークショップの開講</li><li>② チャリティ整体の施術</li><li>③ チャリティイベントの企画及び運営</li><li>④ 平和、国際協力に関する啓発活動</li><li>⑤ 途上国の子どもたちの教育支援並びに里親支援</li><li>⑥ 国内・海外支援活動</li><li>⑦ 地域通貨の運営</li><li>⑧ その他、目的を達成するための事業</li></ul>



# 豪華キャストによる映像シリーズ 「希望の戦士」スタート！

<https://hope-warrior.com/ja/>



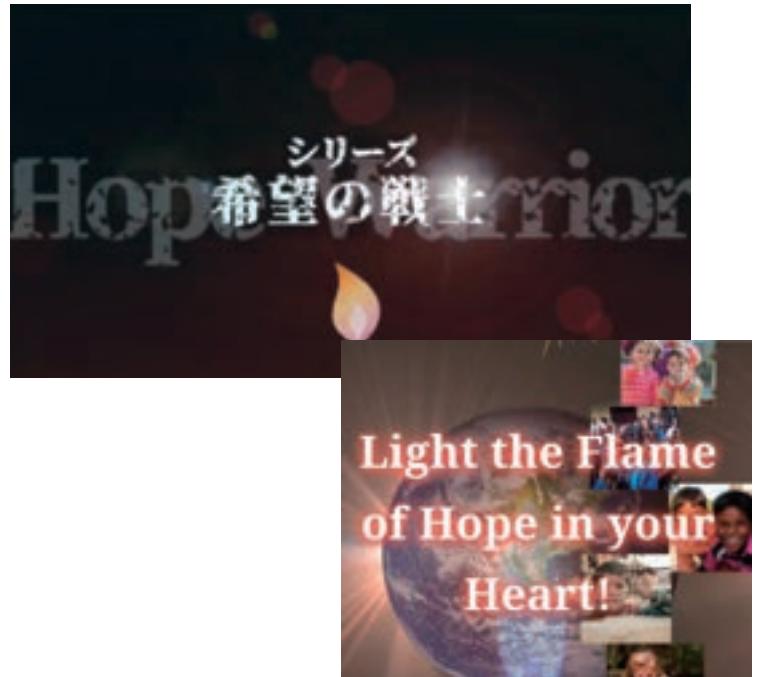
アースキャラバン独自でインタビューした、「希望の戦士」がいよいよスタートしました。

世界を変えるため行動する人々、歴史に名を残した人の子孫、迫害を受けてきた被害者など続々登場。

教科書やメディアでは伝えられない、ここでしか聞けないお話を満載の映像シリーズです。

文字通り命がけで行動する。

それは決して自分のためではなく、他者の幸せのため、利他のため。そんな彼らの姿に「希望の火」を感じていただけるのではないかと思います。そんな方々の心からのメッセージをどうか受け取っていただけたらと思います。



## キング牧師の『永遠の火』と合祀

2022年1月

マーティン・ルーサー・キング・センターとアース・キャラバンが世界に平和の合同メッセージを送る。

2022年1月16日、毎年恒例のキングホリデー遵守週間の式典で、希望の火はアトランタのマーティン・ルーサー・キング・ジュニア非暴力社会変化センターで燃え続けている『永遠の火』と統一されました。

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア非暴力社会変革センターのキング牧師は、キリスト教信仰とマハトマ・ガンジーの平和的な教えの両方からインスピレーションを得て、1950年代後半から60年代にかけて、米国におけるアフリカ系アメリカ人の法的平等を達成するために非暴力運動を主導しました。マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの祝日は、世界中の何百万人の人々によって、そして何らかの形で100カ国以上で祝われています。50年以上にわたり、キングセンターは、非暴力を促進し、平和な世界を創造するよう人々に呼びかけ続けています。



<https://www.youtube.com/watch?v=BzQN0e6XoaM>



# Vision & Mission

- 1 人種、宗教、国籍、思想信条などを超えて人が出会い、絆を深め、お互いの文化を分かち合うこと。
- 2 地球に生きるすべての人に「与え合い」の心が生まれ、戦争、紛争、貧困のない平和な世界が実現されること。
- 3 子どもたちの心に『希望の火』が灯り、世界が明るく豊かに変わること。

アースキャラバンは、以上を目的に、これからも活動を続けます。

## ↙ 活動に参 加 してみま せんか？ ↘

### NPOマンスリー会員になって支援する！

私たちにできることは、関心を持ち、心を通わせ、支援を続けていくこと。この活動は、会員の方々のご支援により成り立っています。当法人の趣旨に賛同していただけましたらどなたでもご入会いただけます。ひと月のワンコインが大きなサポートにつながります。

マンスリー会員

一口 500円  
※何口でも可能です。

### \* ビレッジサポーターになって支援する！

\*子どもを含む村全体の里親支援になります。教育を受けたいと願うすべての子どもに教育の場をつくります。両親、あるいは片親のいない子どもを通じて、村の里親（ビレッジサポーター）としてご支援いただける方。子どもたちが夢に挑戦できるように支援してゆきます。

支援金

一口 1,000円/月より  
※別途NPO会費 500円/月

### 寄付で支援する！

ゆうちょ銀行

口座番号  
00950-8-192701

口座名  
特定非営利活動法人アースキャラバン



### 映画上映会で伝える！

ドキュメンタリー映画「BE FREE！」

2015年、戦後70年目の夏、原爆の残り火と共に世界を巡ったアースキャラバンのロードムービー。メディアでは報道されないパレスチナの真実。

こちらから全編をご観聴いただけます ➔



### 写真展を開いて伝える！



現地のパレスチナ人写真家たちによって撮影された作品（B3サイズへのパネルになります）の写真展。開催することで、彼らの声を人々に伝えさせていただけたら嬉しいです。



## NPO法人アースキャラバン

京都本部 〒605-0089 京都府京都市東山区古門前通大和大路東入元町367-2 Tel/Fax 075-551-2770

東京本部 〒165-0027 東京都中野区野方1-5-11

Tel 03-3385-7558

E-mail info@earthcaravan.jp

URL www.earth-caravan.com